

受注企業動向調査結果

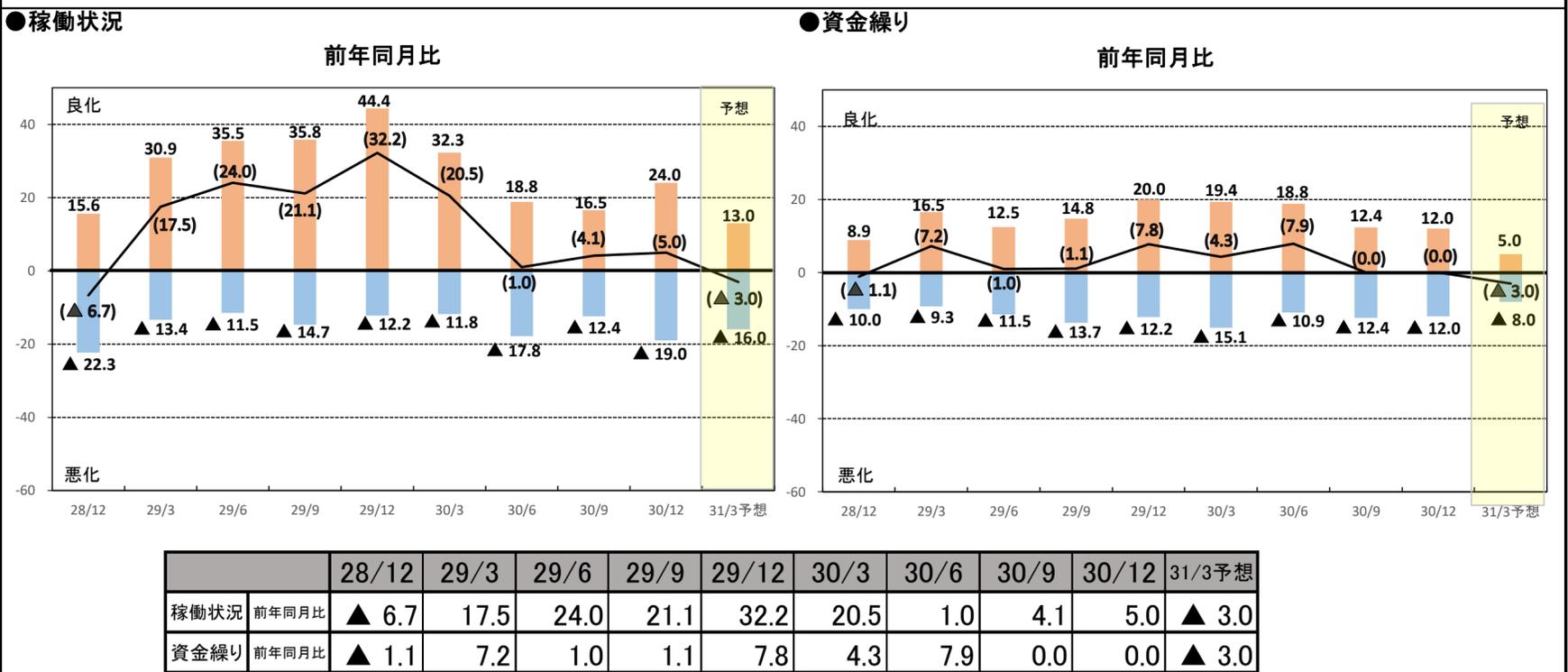
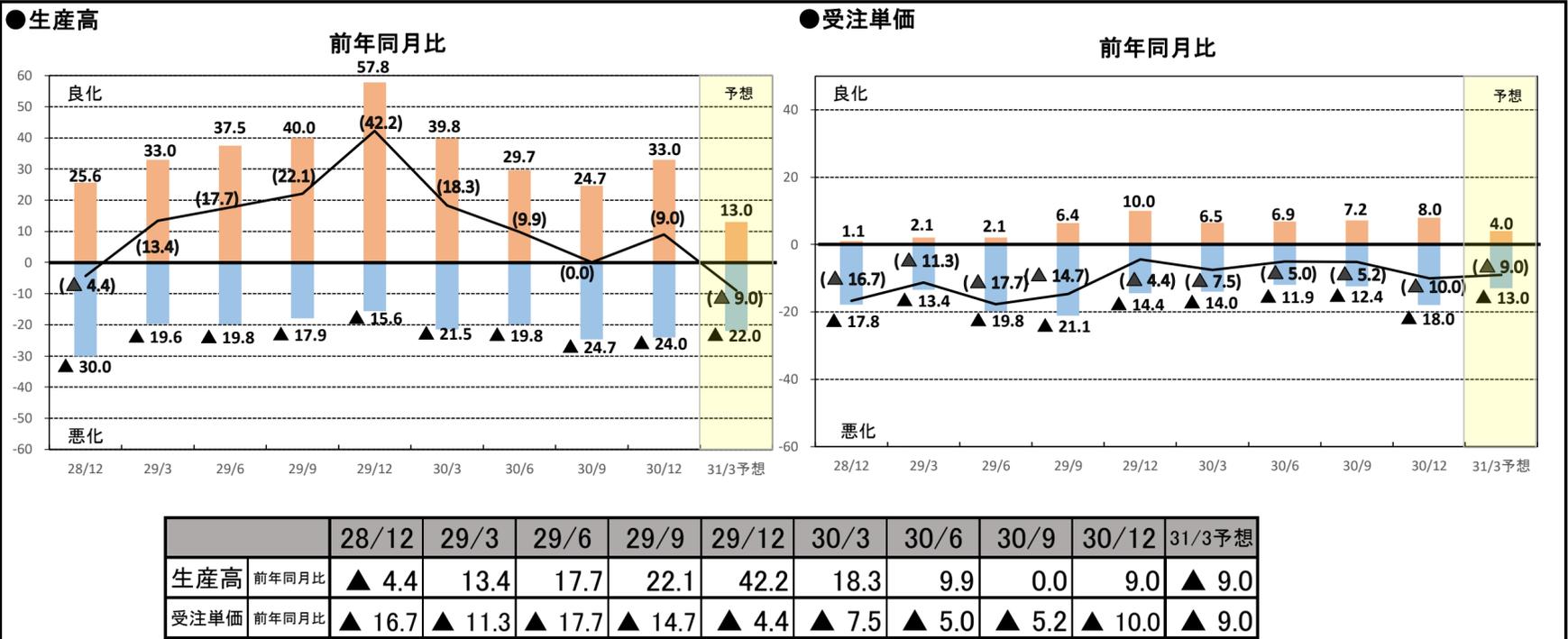
-2019.1-

- 調査時点 平成30年12月調査(平成30年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 100社(回答率:66.6%)

<業種内訳>

プラスチック	7社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	21社
一般機械器具	25社
電気機器	16社
輸送用機器	6社
精密機器	9社
縫製	7社
計	100社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは9.0で前回の0.0から9.0ポイント増で改善となった
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲10.0で前回の▲5.2から4.8ポイント減で悪化となった
- ・稼働状況(前年同月比)DIは5.0で前回の4.1から0.9ポイント増の改善となった
- ・資金繰り(前年同月比)DIは0.0で前回の0.0と変わらず横ばいとなった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲9.0で18.0ポイント減の悪化、受注単価は▲9.0で1.0ポイント増の改善、稼働状況が▲3.0で8.0ポイント減の悪化、資金繰りは▲3.0で3.0ポイント減の悪化という予想になった。
- ・その他自由意見として、電子関係の来年度を不安視する、人手不足、輸送費が上昇している、米中関係を気にする声があった。